

# 校内研修だより

平成16年4月6日

No. 1

(宮崎)

## 黄金の三日間

「黄金の三日間」とは、新年度、学校が始まって三日間のことを言う。  
なぜ「黄金」なのか。

それは、最初の三日間は、どの子も「おりこう」だからである。

教室で、きちんと腰かけている。

教師の言うことを、シーンと聞いている。

誰も、おしゃべりなんかしない。

仕事をたのめば、素直にやってくれる。

休み時間には、にこにこ話しかけてくる。いろんなことを教えてくれる。

天使のような子どもたちがそこにいる。

な教師は、そこで誤解する。

この状態が、ずっと続くと思ってしまうのだ。

「自分は教師としてやっていける」と思ってしまうのだ。

大切な三日間を、どうでもいい、くだらないおしゃべりや、思いつきの活動で浪費してしまう。

黄金の時間は三日間、どれだけ素晴らしいクラスでも一週間しかないのに、それを浪費してしまうのである。

この三日間は、とりもどせない。

あの静かな教室は、段々と崩れていく。

- 中略 -

では、黄金の三日間に、何をやればいいのか。

子どもが、天使のようにふるまっている時に何をすればいいのか。

- 後略 -

「教室ツーウェイ 2002.4」より

### 何をやればいいのか

三日間の過ごし方の具体例については、次のホームページにたくさん出ています。

T O S S ランド

<http://www.tos-land.net/index2.php>

・・・この HP 内でキーワード「黄金の三日間」で検索する